

第 6 1 5 回

九州朝日放送番組審議会議事録

—— 2 0 1 9 年 7 月 度 ——

◇ 開催日

2019年7月16日(火)

◇ 議題

<ラジオ番組>

「～博多に生まれ 90 年のありがとう～」

明月堂 特別企画 ラジオドラマ『博多っ子純情』

<放送日時>

第 1 話 (3/4 放送分) ～第 18 話 (3/27 放送分)

◇ その他

九州朝日放送株式会社

第615回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2019年7月16日(火)午後3時30分～4時55分

2. 開催場所 九州朝日放送 本社役員会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 8名

委員長	野田 幸之輔
副委員長	池田 勝
委員	山崎 靖
委員	赤木 由美
委員	鶴 利絵
委員	安恒 万記
委員	戸田 康一郎
委員	守田 有理子

欠席委員数 0名

放送事業者側出席者名

代表取締役社長	和 氣 靖
常務取締役	笹 栗 哲 朗
取締役 総合編成局長	森 君 夫
取締役 報道情報局長	佐 伯 拓 史
ラジオ局長	坂 井 剛
ラジオ局編成制作部長	渡 辺 浩 司
番組審議会事務局長兼視聴者・広報室長	井 上 千 秋
番組審議会事務局（視聴者・広報室）	松 永 俊 郎

4. 議題

(1) ラジオ番組

「～博多に生まれ 90 年のありがとう～明月堂 特別企画 ラジオドラマ『博多っ子純情』
<放送日時>第 1 話 (3/4 放送分) ～第 18 話 (3/27 放送分)

(2) 2019 年 7 月・8 月 ラジオ・テレビ番組編成状況の報告

(3) 2019 年 6 月 視聴者・聴取者応答状況の報告

(4) その他

5. 議事の概要

◎委員の意見 (概要)

委員からは、

- 長谷川法世さんの原作漫画に描かれている空気感や臨場感が非常にうまく再現されていた。博多祇園山笠の威勢のよさをそのままに、博多弁が飛び交う昭和の町やそこで生活する老若男女の様子、学校の様子が目に浮かぶようだった。
- 主人公の郷六平と大人たちとのやり取りは、現代では忘れられがちな「礼儀」を大切にする気持ちがあふれていて、博多祇園山笠に関わる人たちが大事にしている「文化」を感じることができた。博多の町に根付く「濃厚な地域コミュニティ」が上手に再現されていたと思う。
- 「博多祇園山笠」という中心軸がありながら、主人公の郷六平とヒロインの小柳類子の甘酸っぱい恋の行方もドラマの随所に織り交ぜられており、物語のエッセンスになっていたと思う。次回の放送が博多祇園山笠の話だけではなく、二人の恋の行方についてもリスナーの興味を引く内容になっていた。
- 「ラジオドラマ」という選択肢が実に効果的だった。音声だけのラジオだからこそ自分なりの世界観を描きながら聴くことができたし、音声だけで勇壮な博多祇園山笠のシーンを伝えることができるのだなど、改めて音が持つ力の素晴らしさを感じた。
- 内容等について、分からない箇所はネット検索を勧めるナレーターの指原莉乃さんが「昭和」と「令和」の時代をうまくつないでくれていたと思う。リスナーの疑問を代弁する大事な役割を担っていたと感じた。
- 姫野達也さん (チューリップ) が手掛けたテーマ曲「博多っ子純情」は、優しく癒される声で、番組に懐かしさや温かみを添えていた。昭和の香りがする一方で、いまの若い人にも受け入れてもらえる哀愁のある曲調で親しみやすかった。
- 一週間分の放送を総集編として日曜日の正午から放送した配慮ある取り組みにより、さらに多くの人にドラマを聴いてもらう機会を与えたのではないか。こうした取り組みがラジオファンを増やす好循環になればと思った。

などの評価を頂きました。

一方、気になる点や望むこととして、

- 若い世代や、博多祇園山笠、博多弁をあまり知らない人にとって、少し分かりにくいと感じる部分もあった。
- ナレーターの指原莉乃さんが「ネットで検索してね」と促す場面もあったが、短い時間でもドラマ内で、もう少し丁寧な説明が欲しかった。
- 指原莉乃さんのナレーションはとても効果的だったが、今回の番組ではもう少し自然な語り口でもよかったのではないかと感じた。
- 今回の博多祇園山笠に関する放送は3月に放送されていたが、できれば博多祇園山笠の開始に近い5月から6月にかけて放送して欲しかった。
- 番組は、ホームページからバックナンバーが聴取できるなど、新たな取り組みがなされていたが、放送後の分析から見えてきたリスナーの属性などを教えてほしい。

などの批評や提言、質問を頂きました。

これらに対して、担当者からは、

- 番組で描かれた時代設定は、昭和30年代半ばから後半をイメージされている。台本には「集団山見せ」が登場しておらず、驚かれたリスナーもいたかと思う。もう少し丁寧な説明（ナレーション）があってもよかったかと思っている。
- 声優はすべて福岡県出身者を起用したが、どの声優も本当の博多弁はご存じない。博多の人でも住む場所によってちょっとしたニュアンスが違うらしく、そうした理由から博多祇園山笠でも人望が厚い関係者に方言監修をお願いした。
- ホームページをご覧になった方々は35歳～44歳と45歳～54歳の2層が大半を占めていた。実際の放送を聴いたリスナーはもう少し高い年齢層も含まれただろうが、普段より若干年齢が低い方々にもお聴きいただけたとの印象を受けている。

などの説明をしました。